



平成28年9月6日
内閣府（防災担当）

平成28年防災功労者防災担当大臣表彰式について

標記式典を下記のとおり執り行うのでお知らせします。

記

- 日 時 平成28年9月7日（水）
13時30分～
- 場 所 合同庁舎第8号館1階講堂
- 出席者 防災担当大臣 ほか

* 式典内容はカメラ撮り可

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 坂本、梶原、佐藤、篠田

電話：03-3501-5408（直） FAX：03-3503-5690

平成28年防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔災害時の防災活動〕

大友明夫

(日本赤十字社)

〔防災体制の整備〕

山岡耕春

(内閣府)

齋藤徳美

(岩手県)

中川隆

(愛知県)

野崎隆一

(兵庫県)

裕見吉晴

(鳥取県)

中野晋

(徳島県)

〔防災思想の普及〕

鈴木優

(静岡県)

横山ひとみ

(鳥取県)

旭芳郎

(長崎県)

○ 団体

〔災害時の防災活動〕

南会津町消防団

(福島県)

四日市東日本大震災支援の会

(三重県)

あすなる応援便

(三重県)

〔防災体制の整備〕

学園自治会自主防災会

(東京都)

桂坂学区自主防災会

(京都府)

和歌浦地区防災会

(和歌山県)

加茂5区中自治会防災会

(鳥取県)

〔防災思想の普及〕

大和市少年消防団

(神奈川県)

日東東山自主防災会

(愛知県)

豊橋防災ボランティアコーディネーターの会

(愛知県)

万協製薬株式会社

(三重県)

以上 10個人、11団体

功 績 概 要

個人 [災害時の防災活動]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
氏 名	お お と も あ き お 大 友 明 夫
住 所	宮 城 県 塩 釜 市
職 業	元 自 衛 官
功 績 の 概 要	<p>同氏は、東日本大震災で自ら被災しながらも長期間日本赤十字社宮城県支部防災ボランティアセンター長として統括指揮を執り、救援物資の仕分作業や被災住宅での泥掻き、撤去作業など、被災者への直接の支援活動を実施すると共にボランティアと、被災地ニーズとをうまくつなげ、コーディネーターとしての役割を果たした。</p> <p>また、平成27年9月11日に発生した台風18号等による大雨災害では、いち早く救援物資の積込みに着手するとともに、東日本大震災での経験を生かして「赤十字支援隊」を立ち上げ、自らその隊長となり、災害ボランティアの支援活動を行った。本活動は、被災地ボランティア団体との協働で展開されたものであり、活動中に怪我をしたボランティアの応急手当や安全な活動実績ができていくかの見守りを行うなど、ボランティアのためのボランティア活動という新たな活動領域を形成することとなった。災害時には多くの団体がボランティア活動を行うこととなるが、多くのボランティアの意志がうまくまとめられ、その専門性や力が発揮できて被災者に必要な支援が実施されれば、それは極めて大きな効果となり得るが、同氏の活動はまさしくこの適格なボランティアのコーディネートの役割を果たした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
氏 名	やまおか こうしゅん 山 岡 耕 春
住 所	愛知県名古屋市千種区
職 業	名古屋大学大学院教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、地震学・火山学において優れた成果を残しており、最先端の研究や幅広い知見を踏まえ、様々な場を通じて防災行政へ有用な提言を行っているほか、講演活動や防災教育等を通じて地域の防災力向上に貢献するなど、その活動は非常に幅広いものである。</p> <p>研究活動においては、最先端技術を用いた地震・火山活動に係る観測技術開発及び地殻活動の解明等に取り組んでおり、高い学術成果を挙げているほか、平成28年度からは（公社）日本地震学会の会長を務めるなど、研究活動・学会活動を主導する同氏の功績は極めて大きい。</p> <p>さらに、防災行政においても、「南海トラフ巨大地震モデル検討会」の委員、「火山防災対策推進ワーキンググループ」（中央防災会議 防災対策実行会議）副主査を務め、南海トラフ巨大地震が発生した場合の震度分布・津波高の推計、御嶽山噴火を踏まえた各種火山対策等において、幅広い知見から数多くの有用な提言を行うなど、防災行政においても多大な貢献をされている。</p> <p>このほか、数多くの講演、執筆活動を行っていることに加え、（一財）防災教育推進協会の代表理事を務め、防災教育の推進にも取り組むなど、多岐にわたる活動を行っており、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	岩 手 県 知 事
氏 名	さいとう とくみ 齋 藤 徳 美
住 所	岩手県盛岡市
職 業	岩手大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、岩手山の火山活動が活発化した1998年から、火山防災体制の構築等に取り組み、「岩手山火山防災マップ」の作成や「岩手山火山防災ガイドライン」の策定等において中心的な役割を果たすとともに、現在も「岩手県の火山活動に関する検討会」座長、「栗駒山火山防災協議会ハザードマップ作業部会」部会長、岩手山、栗駒山及び秋田駒ヶ岳の「火山防災協議会」委員を務めるなど、本県の火山防災対策に多大な貢献をした。</p> <p>また、岩手ネットワークシステム「岩手山火山防災検討会」を発足させ、「岩手方式」と称される、産・学・官・民に報道機関を含めた火山防災体制の構築をするなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	愛 知 県 知 事
氏 名	な かが わ た かし 中 川 隆
住 所	愛知県名古屋市瑞穂区
職 業	愛知医科大学災害医療研究センター教授兼センター長
功 績 の 概 要	<p>同氏は、名古屋市・尾張東部地区のみならず愛知県全域の救急・災害医療体制の確立に向け、医療現場で培った豊富な知見と見識に基づき、教育と検証の要素を組み入れた盤石な体制構築に指導的立場で取り組んだ。</p> <p>また、厚生労働省DMAT（災害派遣医療チーム）養成が進む中、中部ブロックDMAT代表及び日本DMAT検討委員会委員として、中部地区及び全国規模での災害医療の第一人者として活躍しており、特に、東日本大震災や熊本地震においては、被災地内支援や愛知県からの医療チーム派遣の調整に尽力した。さらに、伊勢・志摩サミットにおいても現地で医療支援を行うなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	兵 庫 県 知 事
氏 名	の ざ き り ゆ う い ち 野 崎 隆 一
住 所	兵庫県神戸市東灘区
職 業	まちづくりコーディネーター（一級建築士）
功 績 の 概 要	<p>同氏は、阪神・淡路大震災の被災地で地域住民による復興まちづくり活動を長年にわたり支援してきた。</p> <p>さらに、その経験や教訓を活かし、東日本大震災や城崎温泉街の大規模火災でも、地元まちづくり協議会等の活動を支援するなど、住民が主体となった防災性に配慮したまちづくりの推進に大きく貢献するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	鳥 取 県 知 事
氏 名	まつみ よしはる 裕 見 吉 晴
住 所	鳥取県鳥取市
職 業	鳥取大学教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、鳥取県において自助・共助を基軸とした自律型防災活動の仕組みづくり等を研究し、優れた成果を上げており、更に地域住民の防災の取組を指導、支援するとともに、県内各地の防災講演会等によって県民及び防災関係者の防災意識・防災知識の普及啓発を進め、鳥取県の地域防災力の向上に長年尽力した。</p> <p>また、鳥取県防災顧問として専門的な立場から防災行政に対して有益な提言を行うなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	徳 島 県 知 事
名 称	な かの す す む 中 野 晋
所 在 地	徳島県徳島市
職 業	徳島大学大学院教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は徳島大学大学院教授として「地域防災学」「沿岸域工学」を専門に先進的な研究や教育に取り組み、「防災・減災体制」の強化に貢献している。</p> <p>また、防災リーダーの育成のため「徳島県地域防災推進員養成講座」を企画し、防災士を養成するなど防災人材の育成にも取り組むとともに、BCPの重要性を啓発し、自治体や事業所の策定指導に尽力している。</p> <p>さらに、県が設置した南海トラフ巨大地震対策に関する検討組織の委員長を務め、様々な減災対策の策定や、全国初となる県独自の「津波浸水想定」の公表に寄与した。</p> <p>その他、防災啓発番組の制作や、ICTを活用した防災体制の強化にも貢献するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	静 岡 県 知 事
名 称	す ず き ま さ る 鈴 木 優
所 在 地	静岡県賀茂郡東伊豆町
職 業	無職
功 績 の 概 要	<p>同氏は自主防災会長として、地域の実情を踏まえ、地域に必要な体制構築にアイデアを出し、安否確認のための「黄色いリボン」による確認体制や、地域内の全世帯の要配慮者の独自把握体制の構築など、地域の防災力向上に大きく寄与した。</p> <p>さらに、自主防災会活動及び防災訓練の立案への助言、地域における防災講座での講師を務めるなど、地域の防災力向上に資する活動を続けており、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	鳥 取 県 知 事
名 称	よこやま ひとみ 横 山 ひ と み
所 在 地	鳥取県鳥取市
職 業	元小学校長
功 績 の 概 要	<p>同氏は、元教育職としての豊富な知識と経験を活かし、鳥取県防災教育コーディネーターとして、過去の災害の教訓や地理的条件等を踏まえた鳥取独自の小学生向け防災教育プログラムである「鳥取型防災教育の手引き」の製作やその効果的な活用に取り組む等、鳥取県の防災教育レベルの飛躍的な向上に貢献した。</p> <p>また、鳥取県学校防災アドバイザー、鳥取県自主防災活動アドバイザー、鳥取県学校の安全教育推進委員会の委員として、学校及び地域における防災学習の充実強化に尽力するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	長 崎 県 知 事
名 称	あさひ よしろう 旭 芳 郎
所 在 地	長崎県南島原市
職 業	自営業
功 績 の 概 要	<p>同氏は、平成3年6月3日の「雲仙岳噴火災害」から災害ボランティアとして、「普賢岳ボランティア協議会」を設立し、事務局長として協議会運営で重責を担った。</p> <p>また、阪神淡路大震災・北海道南西沖地震・東日本大震災・熊本地震・有珠山噴火災害等の全国の災害では、災害ボランティア先駆者としてボランティアセンターの運営・支援活動で指導的役割を果たしている。</p> <p>さらに、日本防災士会長崎県支部設立にも関わっており、地域防災啓発活動では、年間約50回の講演活動・ワークショップも指導するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	福 島 県 知 事
名 称	みなみあいづまちしょうぼうだん 南会津町消防団
所 在 地	福島県南会津郡南会津町
代 表 者	おおたけ まさのぶ 大竹 政信
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成27年9月の関東・東北豪雨の際に、対策本部への情報伝達、自主避難者の誘導、町内各地での土嚢製作、住宅・道路・側溝等に流入した土砂や流木等の撤去作業、住家への浸水対策応急措置、土砂災害危険個所のパトロール、情報収集等を適時・的確に行い、住民生命・財産を守るための災害対応を行い、災害時の防災活動に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	三 重 県 知 事
名 称	よっかいちひがしにほんだいしんさいしえんのかい 四日市東日本大震災支援の会
所 在 地	三重県四日市市
代 表 者	きとう ひろふみ 鬼頭 浩文
功 績 の 概 要	<p>同支援の会は、東日本大震災発生直後から、代表が教授を務める四日市大学内で有志を募り、津波被害に遭った家屋の泥かき活動等に従事し、のべ25回被災地（主に東松島市）を来訪した。</p> <p>また、最近では、災害で破壊された地域コミュニティの再構築を目的に、現地でイベント等を開催し、被災者の心の繋がり醸成に注力しており、本年4月の熊本地震でも被災地へ出向き、足浴及び被災小学校の清掃活動を実施するなど、災害時の防災活動に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	三 重 県 知 事
名 称	あすなるおうえんびん あすなる応援便
所 在 地	三重県鈴鹿市
代 表 者	ひぐち ひろや 樋口 博也
功 績 の 概 要	<p>あすなる応援便は、東日本大震災発生直後から、自社の輸送用トラックにて支援物資の収集と配送を続け、物心両面から被災者を支える活動に尽力し、延べ50回にも渡り、被災地各地を回り、最近では災害で破壊された地域コミュニティの再構築を目的に、現地でイベント等を開催するなど、被災者の心の繋がりを醸成することにも力を注いでいる。</p> <p>また、同時に現地で被災者の作った産物等を仕入れ、四日市市等が開催するイベント等で販売し、売上を被災地へ還元する活動を行うなど、災害時の防災活動に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	東 京 都 知 事
名 称	がくえんじちかいじしゅぼうさいかい 学園自治会自主防災会
所 在 地	東京都武蔵村山市
代 表 者	よしざわ みきお 吉澤 幹郎
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、市、消防、警察、学校等の行政機関、地域、PTA、事業所等と連携し、高齢者や子供などの災害弱者に対する安全対策の推進と、若年層に対する防災思想の普及のため、大規模な防災訓練や、独自の水防訓練、みかん狩りなどの各種イベントに合わせた効果的な防火安全教室の実施など、地域特性に応じた効果的な取り組みを実践し、地域防災力向上のため、地域を挙げて取り組み、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	京 都 府 知 事
名 称	かつらぎかがつくじしゅぼうさいかい 桂坂学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市西京区
代 表 者	やまさき たかはる 山崎 貴治
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、学区総合防災訓練、16の各自主防災部単位での防災行事、各種団体主催の普通救命講習を毎年継続して実施している。</p> <p>また、災害時に実効性のある活動ができるよう、本部役員は災害初期に重要な内容の訓練を積み重ね、専門部役員、自主防災部長、学区民を段階的に指導し、学区全体の防災行動能力の向上を図っており、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	和 歌 山 県 知 事
名 称	わかうちくぼうさいかい 和歌浦地区防災会
所 在 地	和歌山県和歌山市
代 表 者	おおみち ひとみ 大道 眸
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、防災会・民生委員・消防団等と地区住民が一体となって防災訓練の実施、講演会・研修会への参加を継続的に実施する等防災活動の向上に常に取り組んでいる。</p> <p>また、防災会主体で、要援護者マップを作成する等、地域住民が一体となった先駆的な取組を進め、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	鳥 取 県 知 事
名 称	かもごくなかじちかいぼうさいかい 加茂5区中自治会防災会
所 在 地	鳥取県米子市
代 表 者	つばき まさあき 椿 正昌
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、平成7年の設立以降、避難行動要支援者対策や防災意識普及のための啓発活動、自衛消火栓の掘削、災害時飲料水用の井戸の整備に取り組んでいる。</p> <p>また、平成23年度には、東日本大震災を受け、地域内のスーパーや銀行等との災害時の避難場所に関する協定を締結し、さらに、防災訓練の実施、防災マップの作成、防災資機材の整備等の地域防災力を高めるための活動を継続的に実施するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	神 奈 川 県 知 事
名 称	やまとししょうねんしょうぼうだん 大和市少年消防団
所 在 地	神奈川県大和市
代 表 者	やまざき じゅんいち 山崎 潤一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、市内の小学4～6年生の児童で構成し、これまで1,200名の卒団生がおり、大和市民まつりパレード・消防出初式・社会福祉施設訪問による火災予防広報をはじめ、消火訓練・救命講習受講による実技訓練、避難所体験訓練・ジュニア防災検定の受験による防災対応研修の実施等、市内の防火防災思想の普及に寄与している。</p> <p>様々な専門分野の消防職員が直接多種多様な訓練を指導しており、実践的な訓練を少年期から受けることで災害時に対応力のある人材を育成するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	愛 知 県 知 事
名 称	にっとうひがしやまじしゅぼうさいかい 日東東山自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者	すずき とおる 鈴木 徹
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、家屋の耐震診断、家具転倒防止金具取付について、行政と協働してローラー作戦を実施し、地域内において耐震診断の促進、家具転倒防止金具取付実施率の向上に努めたほか、小学生を対象に地域防災マップ作成プロジェクトを実施し、子供たちに対する地域防災教育を自主的に行った。</p> <p>また、市・警察・消防組合等と協働して、地域合同総合防災訓練を実施するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	愛 知 県 知 事
名 称	とよはしぼうさいぼらんていあこーでいねーたーのかい 豊橋防災ボランティアコーディネーターの会
所 在 地	愛知県豊橋市
代 表 者	しらい としお 白井 稔男
功 績 の 概 要	<p>同会は、豊橋市で行われているボランティア養成講座をサポートし、数多くのボランティアコーディネーターの輩出に貢献している。</p> <p>また、南海トラフ地震など大規模災害に備えて支援本部の運営、災害ボランティアの各種研修を重ねる等、レベルアップを図っている。</p> <p>さらには、市内小中学校の総合防災訓練や地元自治会と連携した「安全なまちづくり」の推進等に尽力し、啓発部門は、豊橋市のみならず愛知県内各地から活動要請を受け、ボランティアの啓発に努めるなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	三 重 県 知 事
名 称	ばんきょうせいやくかぶしがいしゃ 万協製薬株式会社
所 在 地	三重県多気郡多気町
代 表 者	まつうら のぶお 松浦 信男
功 績 の 概 要	<p>同社は、阪神・淡路大震災で工場が全壊したことを契機に、災害時に円滑かつ迅速な災害対策活動を行うことを目的として、多気町と防災協定を締結し、災害発生時における医薬品・重機等の物的協力、災害対策活動における社員の人的協力、役場に隣接する広大な施設の提供協力等を行っている。</p> <p>また、社員が災害ボランティアコーディネーターとして住民と共に町防災訓練、防災啓発に参加し、地域防災の活性化に貢献するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>